



ビアフェスタ・会員レター

第 93 号



奥松島嵯峨溪遊覧船



松島のウニ



松島の夕日

●ビアフェスタ会員の皆様へ

暑さ厳しきおりではございますが、いかがお過ごしでしょうか？
いつもビアフェスタをご利用くださいまして誠にありがとうございます。

今月のビールは宮城県の松島ビール様より「松島ビール」6本セット(ヘレス2本、バイツェン1本、ボック2本、サン・ファンビール1本)をお送り致します。

さて、松島ビールが作られる宮城県黒川郡の近くには、日本三景の1つに数えられている松島があります。松島湾内外にある大小260余りの諸島のことで、国の文化財をはじめ、新日本旅行地100選、日本遺産・百選など日本を代表する観光名所、風景とされています。しかし2011年の津波は松島にも襲い掛かり、多くの被害が出ました。今、町を上げて復旧復興に力を入れています。おみやげ店、ホテル、観光施設等は約100%の施設が復旧し、大勢のお客様に訪れており、松島には津波が来なかったと錯覚させるほど、穏やかで美しい景観を楽しむことができます。

10月26日(日)毎週土、日、祝日には、奥松島嵯峨溪遊覧船が出航し、松島の美しい島々と日本三大溪嵯峨溪を楽しむことができます。8月16日(土)に第92回東松島市鳴瀬流灯花火大会が開催されます。

この夏、松島に旅行に出かけてはいかがでしょうか？

さてここで当ファン倶楽部「ビアフェスタ」のご紹介をさせていただきます。ビアフェスタは毎月一度、ファン投票をもとに選ばれた地ビールを
(1)計画生産ゆえにできた一番蔵出しを
(2)計画配送で美味しいチルド配送によって
(3)管理費用の低減で実現した割安料金で
味わうためのメンバーズ倶楽部です。

世界中の料理文化が繚乱と花咲いている日本で、いつも「とりあえずのビール」ではさびしくありませんか？

我々が会員の皆様にお伝えしたいものは、せめて週末ぐらいは自分へのご褒美を・・・ビールジョッキで豪快に飲むビールではなくて、グラスでまったり味わう地ビールで、過ぎし日の一週間をゆっくりと振り返る、若しくはこれからの楽しい一週間に思いをはせる、なんてとっても素敵だと思いませんか？

サポートスタッフ一同頑張りますので是非応援してください。日本のビール文化をさらに充実させていきましょう。どうかこれからも長いお付き合いをいただけますよう宜しくお願い申し上げます。

暑さ厳しき折ですが、お身体ご自愛下さいますように。

地ビールファン倶楽部「ビアフェスタ」一同より。

平成26年7日吉日



松島ビール

●今月のビールのご紹介

宮城県から松島ビールをお送りします。(ヘレス2本、バイツェン1本、ボック2本、サン・ファンビール1本)

ドイツ仕込みの本格派ビールです。宮城県初の地ビールとして1997年9月に誕生した松島ビールは、ビールの本場ドイツから直輸入した最高峰の設備と、麦芽、ホップなどの原料もドイツからの輸入品と徹底的にドイツスタイルのビールにこだわり、ドイツ人ブルーマイスターの醸造技術の指導による本格的なビールです。また加熱処理をしていない酵母入りの生ビールとなっております。大切に育てられたビールだからこそ皆様に喜んで頂けるものと、私たちは確信しています。

お届けするビール

■ヘレス

世界中に広がっている最もポピュラーなピルスナータイプ。喉越しが爽やかで味もまろやか。飲んだ後の清涼感に富んでいます。

■バイツェン

大麦と小麦を併用しており、バナナのようなフルーティーな味が特長です。ろ過しないため酵母が豊富で、美容と健康にいいビールです。

■デュンケル(限定ラベル サンファンビール)

ローストした麦芽が香ばしい濃色ビール。深いコクと苦味が特長となっていますがクセはなく飲みやすく仕上がっています。

■ボック

麦芽を通常の1.5倍使い熟成にも2倍時間をかけて仕上げた濃厚で深い味わいの贅沢なビール。アルコール度数が7%と高いのが特徴です。

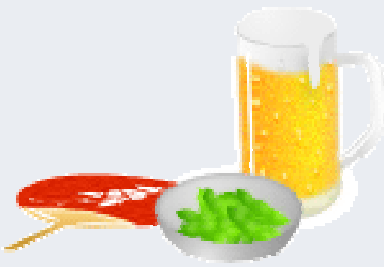
●来月のビールのご紹介

三重県より「伊勢角屋麦酒」をお送り致します。

「安心して安全で美味しいビールを造り世界をうならせよう」を合言葉に世界に通用するビールを造るために、スタッフ2人がビール審査員の資格をとり、国内外の大会での審査を通してプロとしての目を養いました。また、弊社では、日本ではめずらしいオープン発酵タンクを使用し、ビールに負荷がかからないように細心の注意を払い品質にこだわった醸造をおこなっております。



伊勢角屋麦酒



編集後記

“ふるさとに行く？” 昨年に最後まで大阪の実家に残っていた母親を東京に呼び寄せたので、今自分の大阪の実家は無くなりました。母親を呼び寄せるまでは考えたこともない、ふるさとが無くなるという事実です。今までは大阪に「帰る」と言っていたのに今は大阪に「行く」となり複雑な心境でした。まあそこは大阪人の前向きの生き方でしょうか、折角行くならトコトン楽しんでこようということで一泊二日の日程で、京都で墓参りに行き、大阪駅直ぐの地下街の串カツ「ヨネヤ」でビール大瓶 2 本と串カツ 10 本で空腹を満たし、阿倍野ハスカルを一回りしてお腹を減らした後、夜は新世界の「ずぼらや」でてっちり食って、締めめに阿倍野界隈の「鶴橋風月」で焼きそばを平らげ、翌日は朝食代わりに朝からまた「ヨネヤ」で串カツとビールで景気づけをして、昼から甲子園で「阪神 vs 中日」戦を堪能し、最終の新幹線で東京に戻ってきました。ああ食った、食った、楽しかった（さ）

ある黒毛和牛の産地からのオファーで、浅草に焼肉レストランをつくらうとしています。浅草は焼肉店の激戦地です。後発がどのような作戦を取るべきかに不安を持っていたのですが、色々な業態の焼肉屋さんで食べてみて活路が見えてきました。というか、焼肉って、肉素材そのものに勝負をかけている面があるので、その店ならではの「売り」のある店が意外と少ないんですよ。立地にもよりますが、浅草のように人が集まる場所であれば、ちょっと工夫するだけで繁盛店を仕掛けやすい。・・・ということで、今年はお仕事で焼肉三昧です。焼肉といえばビール、どちらかといえば甘いつけダレや肉の脂っこさをすすげる様なサツパリ系のビールが合いますね。マツタリ系のコク味が強いビールはフードとガチンコしてしまうので今ひとつピツタリこない。淡色系のスッキリした切れの良いビールがおすすめです。うーん、本当は肉産地で醸造しているクラフトビールを扱わせたいところだけれど、旨いビールを出してもあんまり売れないかもしれないな(わ)

7月8日の段階だが欧州、南米それぞれ2か国づつベスト4が出そろった。サッカーW杯の話である。共通のルールをもった一つのスポーツが地球規模でおこなわれることに感心する。元々サッカー観戦には集中がいる。漫然とみてもゴールが近くなると力が入るし、一瞬を見逃すまいとその集中を維持する必要がある。下手をするとトイレにもいけな。ゴールシーンを見逃すと何のためにずっと見ていたのかと後悔することも。今回日本での開催は夜中もしくは明け方におこなわれていることが多く、寝不足が付きまとう。しらふもつらいこなのでビールを飲むことになろうが、興奮と睡眠不足の上にアルコールでは体調をくずしても文句は言えない。ワールドカップはさっさと終わって、気楽にビールを飲みたいものである。(い)

暑い日が続きますね。少しずつ通勤電車の混み具合も緩んできている感じで、夏休みを既に取りられている方も多いのではありませんか？私はお盆の週にお休みをもらう予定でおり、具体的な予定はありませんが、長男2歳と二人旅でもしようかなと思っています。夜は大丈夫だろうかと心配です。なんせ長男はお母さん子ですから。まずは予行練習として、二人だけで映画や動物園など二人だけで行ってみようかな。息子が生まれてから、子どもとの旅は憧れでした。一番息子たちとしたい旅は、夜行列車に乗って旅することですね。飛行機や新幹線を使って目的地まで早く行くのもいいでしょうが、のんびりと、色んな話をしながら、見ながら旅するのが醍醐味なのでしょうね。寝台列車の中で子供の寝顔を見ながら、ビール飲める日が近い将来実現できればいいな。(く)